令和8年度全国学力・学習状況調査　えりも町内の状況及び今後の改善方策について

（小学校：4校　児童数：28人　中学校：1校　生徒数：30人）

○ 教科に関する調査の状況

【平均正答率・平均IRTスコア】

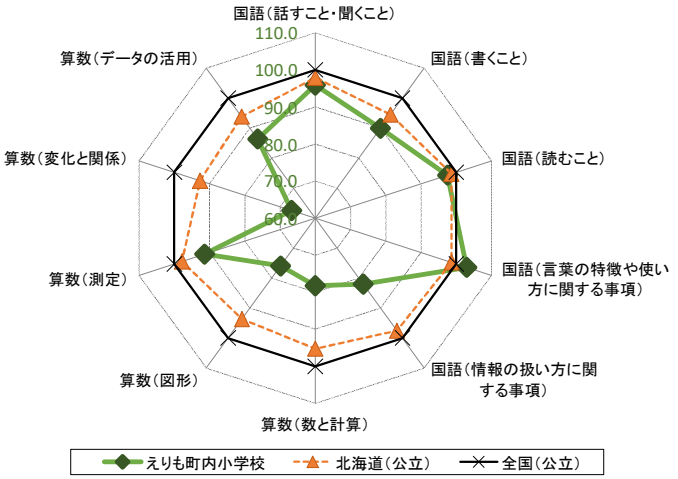
- 中学校英語は平均IRTスコア
- IRTスコアとは・・・項目反応理論（IRT）に基づき、500を基準として学力を数値化した指標

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語
えりも町	59	45	52	39	416
北海道（公立）	59.6	53.6	63.3	55.0	490
全国（公立）	60.9	56.4	63.9	57.0	499

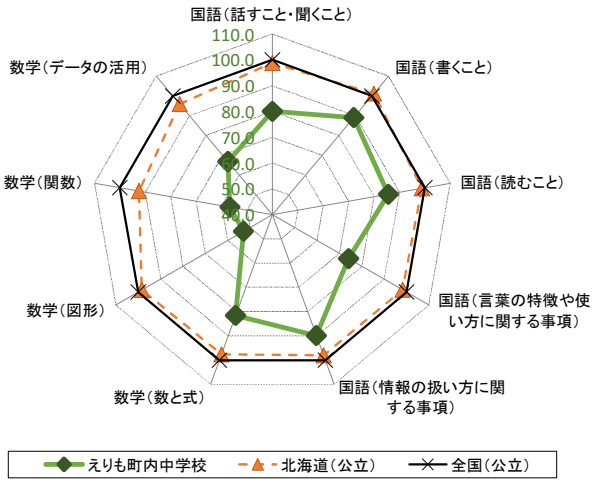
【レーダーチャート・IRTスコア分布グラフ】

- 教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）
- 中学校英語の結果は、IRTスコアで表されるため、IRTスコア分布グラフで表示

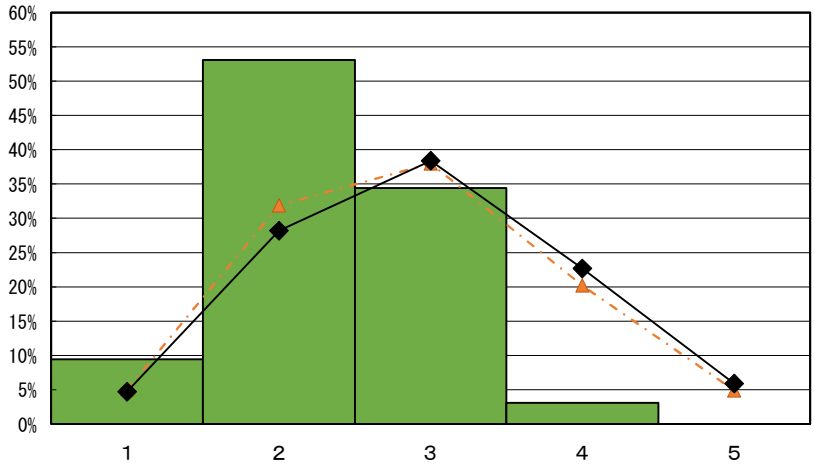
小学校



中学校



IRTバンド分布グラフ（横軸：IRTバンド　縦軸：割合）



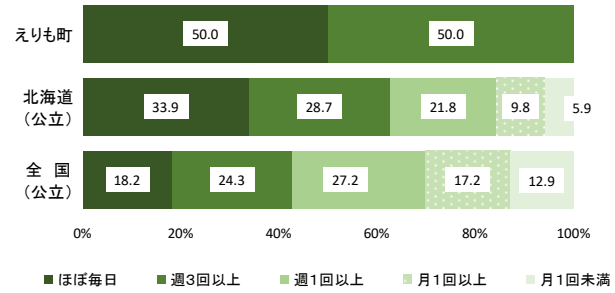
IRTバンド（学力層）	生徒数	割合(%)		
	えりも町	えりも町	北海道（公立）	全国（公立）
5	0	0.0	4.9	5.9
4	1	3.1	20.2	22.7
3	11	34.4	38.0	38.4
2	17	53.1	31.9	28.2
1	3	9.4	5.0	4.7

○ 質問調査の状況

小学校

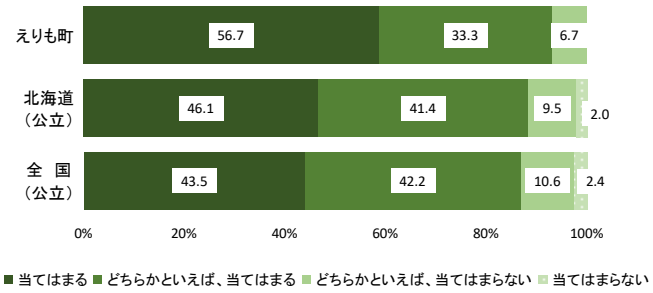
＜学校質問＞

児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



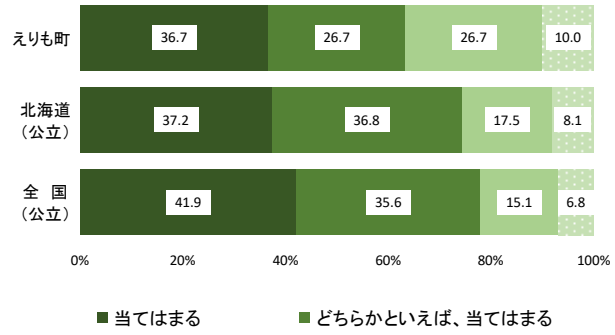
＜児童質問＞

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



＜児童生徒質問＞

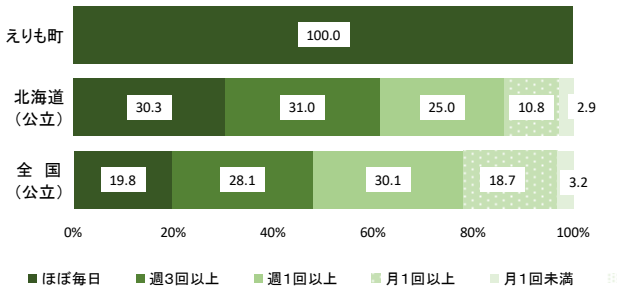
算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



中学校

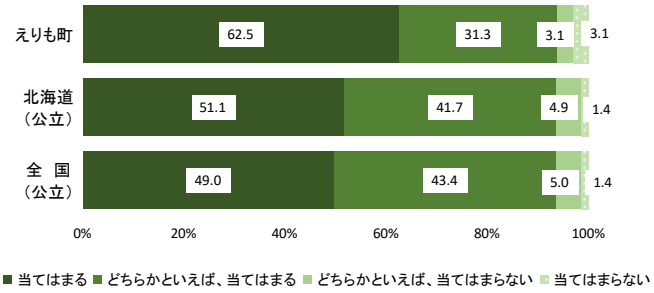
＜学校質問＞

生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



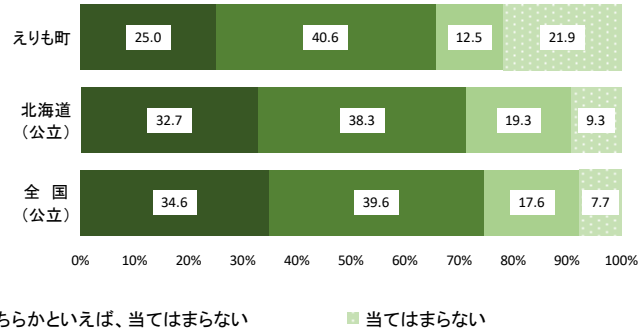
＜生徒質問＞

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



＜児童生徒質問＞

算数[数学]の授業の内容はよく分かりますか



○ 調査結果の分析

- 小学校において、児童同士がやりとりする場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用していることがうかがわれる。そのことが要因の一つとなり、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることに結び付いて、主体的で対話的な活動が行われていると考えれる。
- 中学校において、生徒が自分の考えを発表・表現する場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用していることがうかがわれる。そのことが要因の一つとなり、授業や学校生活を送る中で、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら授業や学級活動ができていると考えられる。
- 小学校算数及び中学校数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、算数・数学の授業の内容はよく分かると回答した児童生徒の割合が全国及び全道を下回っているように、授業等が理解されていないことが要因の一つとして考えられる。今後の課題として、指導方法の工夫をはじめ、学習後の振返りや家庭学習を含めた学習方法の改善が求められる。

○ 今後の改善方策

- 児童生徒の授業の理解度等に応じた指導方法の工夫改善を一層図り、児童生徒一人一人の資質・能力を確実に育成する取組の推進
- ICT端末を活用した学習支援ソフト等による家庭学習の習慣化を図る取組の推進
- 小学校及び中学校における確かな学力の向上に向けた継続的、段階的な取組の強化